

在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会

～報告～

平成30年10月31日

目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

- 顔の見える関係会議や在宅医療研修の内容について検討
- その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）
について検討

第1回(通算24回目)顔の見える関係会議報告

◎第1回(通算24回目) 顔の見える関係会議

開催日時:平成30年7月19日(木) 午後7時~9時

内 容:①グループワーク『脳卒中の方が安心して在宅療養へ移行するために』

②ミニレクチャー『脳卒中のリハビリテーションについて』

参加者:総数 173名

医師18名(診療所16名, 病院2名), 歯科医師10名, 薬剤師10名,

看護師14名(訪問看護10名, 病院診療所4名)

医療ソーシャルワーカー等7名, 管理栄養士3名,

介護支援専門員10名, 地域包括支援センター職員15名, リハビリ職11名

介護サービス事業者34名(特別養護老人ホーム3名, 介護老人保健施設4名,

サービス付高齢者住宅4名, 小規模多機能3名, グループホーム1名,

定期巡回・随時対応型訪問介護看護1名, 通所介護8名, 訪問介護9名, 福祉用具専門相談員1名)

回復期リハビリ病棟職員(PT・介護職員)2名, 県内自治体職員6名, 大学関係者3名

企業1名, 東京大学1名, 柏市職員28名(うち消防17名)

新たな参加者の割合 41%!

会議の様子




グループワーク例



アンケートの結果, 約95%以上の方が「役立った」「まあ役立った」と回答した

会議内容等に関する感想・意見等(抜粋)

診療所医師	改めて、職種毎に様々な視点があること、連携の大切さを感じた。今後もケースカンファレンスを軸に多職種が医師に期待すること、医師が多職種に期待することを、忌憚のない意見交換を交わしたい。
歯科医師	テーマが分りやすく各グループの意見も同様のものが多く、柏市で取り組んでいた、様々な会議の成果が現れていると感じた。
薬剤師	多職種の視点を聞くことができ、他の職種がどのような情報を求めているか実感できた。
訪問看護師	施設側・在宅側・救急側、それぞれの視点は共通するもの、独自のものがあり、グループワークで話し合うことで視野が広がった。この情報や視野を共有することで、幅と深さのあるケアが提供できると思う。
病院看護師	情報の連携の重要性とともに専門職として各職種が役割発揮することで1人1人の患者を支えていることを改めて実感した。
介護支援専門員	視点の違いから自分の視点以外の多くの気づきへ繋がった。自分の苦手な分野は気付かない事を実感した。脳梗塞の理解を深められ良かった、動画が特に良かった。
介護サービス事業者	リハビリテーションの必要性や期間を知れて良かった。痙縮について学ぶことができた。
リハビリ職	それぞれの職種が、何を優先して知りたいのか分かった、幅広い視点があると考えさせられた。多くの職種が集まる会議のため、実際の困難事例を通して、課題を話し合う場となると様々な解決策が見つかるのではないかと思った。
救急隊	搬送した後に、どのような治療やケアを受けるか分かった。傷病者も家族も大変だと感じた。 経済力・本人の意思・家族の意向によって介護が違うことを知った。

 脳卒中発症前後の関わる関係職種が、視点の違いやそれぞれの強みを共有し、多職種連携の必要性を改めて確認することができた。

第10回在宅医療推進のための多職種連携研修会 -開催報告-

日程：平成30年9月9日(日) , 10月14日(日)

場所：柏地域医療連携センター

修了者数 52名

傍聴者数 1日目：33名, 2日目：34名

主催：柏市医師会、柏市

共催：柏歯科医師会、柏市薬剤師会、柏市訪問看護ステーション連絡会、柏市介護支援専門員協議会、
柏市在宅リハビリテーション連絡会、東葛北部在宅栄養士会、柏市介護サービス事業者協議会

修了者：医師5名、歯科医師7名、薬剤師6名、看護師6名、MSW・病院看護師4名、リハビリ職3名、
管理栄養士1名、介護支援専門員7名、地域包括支援センター職員10名、介護サービス事業者3名

(1日目)平成30年9月9日終日

- ・柏市における在宅医療の取り組み
- ・専門職連携協働:IPW(講義)
- ・在宅生活を支える多職種プレゼンテーション
- ・認知症の行動心理徴候の基本的理解
(講義・GW)
- ・摂食・嚥下障害の基礎的知識と対応(講義・GW)
- ・総合特区について(講義)
- ・柏市における在宅での口腔ケア(講義)
- ・柏市における訪問リハビリテーション(講義)
- ・意見交換会

(2日目)平成30年10月14日終日

- ・退院時共同指導 ご家族の体験談(講義他)
- ・本人・家族の選択と心構えをどう支えるか
(講義・GW)
- ・がんの疼痛緩和(講義・GW)
- ・多職種によるがん患者への在宅医療支援(GW)
- ・高齢者の包括的介護予防・フレイル予防(講義)
- ・在宅での褥瘡ケア(講義)
- ・一般開業医が取り組む訪問診療の実際(講義)
- ・在宅医療を推進する上での課題とその対策
(GW)
- ・修了証書授与

* GW：グループワーク

(実地研修) 4名実施：医師のみ概ね3時間程度/回。原則として、研修1日目と2日目の期間で1回実施。

平成30年度 今後の活動予定

<部会>

第2回 平成31年2月28日(木)

内容:平成30年度活動内容の評価と平成31年度活動への提案

<顔の見える関係会議>

	開催日時	テーマ	会場
第25回目	平成30年11月19日(月) (柏北部・北柏・北柏第2包括)	エリア別 「認知症の方を地域で見守り、 支えあえるまちを目指して」	柏地域医療 連携センター
	平成30年11月16日(金) (柏西口・柏西口第2・柏東口・ 柏東口第2包括)		柏地域医療 連携センター
	平成30年11月30日(金) (光ヶ丘・柏南部・柏南部第2・ 沼南包括)		沼南庁舎 大会議室
第26回目	平成31年2月7日(木)	アドバンス研修 (仮)「意思決定支援について」	柏地域医療 連携センター